

冬でも熱い大連岡山県人会

大連にはおよそ20の日本人県人会があります。規模の違いはあってもかなり活発に交流しており、時には隣接する県同士の合同交流会も開催されています。岡山県大連県人会は当デスクが設立後の2008年8月に登録会員15名で発足しました。県人会には、中国東北三省在住の岡山県出身者をはじめ岡山県企業勤務者、県内で勤務経験や在学経験のある方が加入されています。設立時は岡山県からもデスク担当課職員が参加し、回を重ねた現在では、登録メンバーは26名と順調に拡大しています。

当初は設立メンバーや、大連進出の岡山関連企業様の紹介により参加される方が多かったのですが、最近では現地のフリーペーパーの取材や案内、上海など他地域の岡山県人会や業務取引先からの紹介など、紹介ルートも多様化し年齢層も20代から60代と広がりを見せています。活動としては、年2回程度開催している定例交流会のほかに、岡山県からの視察団が大連を訪問する際、県人会運営事務局を担当している大連デスクから、現地の



の情報交換会やレセプション等への参加をご案内することもあります。会員の中には、活動の拠点は大連に置きつつビジネスで日本や中国各地を“行脚”し、県人会の行事に合わせて大連へ来られるという熱心な方もあり、郷土愛というものをつくづく感じます。



第3回の大連岡山県人会は平成21年12月4日、大連市内にて開催されました。大連では珍しく雪の降る中、はるばる開発区や旅順からの参加者も含めて15名がつどい、思い思いに話に花を咲かせました。長らく岡山県を離れていた方々が、近いとはいえ海外の一都市で、岡山弁で交流できることには格別の思いがあるのでしょうか。話題の尽きない方々を前に閉会の宣言をするのは少々勇気が必要でした。次回開催は今年春頃を予定しています。大連と岡山にゆかりのある方々のご参加をお待ちしています。